

風早北部
防犯情報

しょうなん

行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No-result"

若者たちよ、闇バイトに手を
染めないで！



警察当局も新たな捜査手法で組織撲滅を目指す様です

昨年12月の警察庁の報道によりますと、闇バイトによる犯罪への対策として、警察捜査員が架空の身分証を使用し「仮想身分での捜査」を今春から可能にする法整備が進められています。捜査員が架空の人物に成りすまして、闇バイトに応募し、犯罪組織を摘発、犯罪の撲滅を目指します。

警察庁及び東京都は闇バイトの危険性を訴える専用のサイトを立ち上げています。

警察庁は「闇バイトの危険性を訴え、そうした犯罪に手を染めないよう、広く市民に呼び掛けることを目的に、「少しでも不安を感じたら#9110に電話を」並びに「闇バイトの真実」をそれぞれ動画にして紹介しています。前者が30秒、後者が3分15秒程度の動画ですので、是非ご覧ください。



「**いわゆる闇バイトの危険性について**」で検索して、上記動画サイトにアクセスが可能※です。



東京都も同ホームページ内に特殊詐欺加害防止の特設サイトを設け、住民に「逮捕されるまで辞められない、抜けられない闇バイトの実態」や、「闇バイトの特徴を紹介」した動画を掲載しています。**「特殊詐欺加害防止 特設サイト」**で検索し、展開した画面上で是非ご覧ください。



ご存知ですか？ 不審電話の番号表示について

着信した相手の電話番号表示の頭に「+」がついている場合に注意

それは国際電話（海外からの電話）番号の表示です。外国からの電話に心当たりがない、仮に外国の知人がいても知らない・見たことのない番号なら、絶対にその電話を取らないようにしましょう。

受信音声が一回だけ(ワン切り)の電話に注意

一回鳴っただけの受信歴で、何だろうと思って折り返しで電話してしまうことで、高額な電話料金が発生（国際電話など）し、法外な料金を請求される場合があります。これもいわゆる詐欺行為です。詐欺集団は手当たり次第に国際電話のワン切り行為を行い、その罠に引っかかる相手を探しています。

上記のような「相手の番号に＋マーク付き」は＋1のアメリカやカナダからのモノが最も多く、次いで「スリランカ（＋94）」や「キリバス（＋686）」の順となっており、更に「＋800」の国際フリーフォン（受信者が利用料金を負担する、いわゆるコレクトコール式のもの）を利用した詐欺も多く報告されています。

こうした不審電話への対処方法

心当たりのない不審な「電話番号」から着信があった時は、以下の4つのことを大事にしてください。

- とにかく電話に出ない
- 知らない番号であれば折り返しの電話はしない
- 着信拒否する
- もし出ってしまった場合はすぐ切る
- 不安なら警察や消費生活センターへご相談ください（＃9110 又は 188）

